

2024年度 実施概要

事業9年目を迎える2024年度は、静岡県内各地の海の課題の取材やオリジナル体験学習イベントを通じて、静岡市や東海大学、静岡県水産・海洋技術研究所などの研究機関等と連携した。取材動画の独自設定テーマとしては、7年目に突入している黒潮大蛇行の状況を専門家に取材するとともに、キンメダイの人工授精の研究成果や浜名湖のアサリ不漁の要因、静岡県の豊富な地下海水を利用したバナメイエビなどの陸上養殖についても取り上げた。海を休ませ、持続可能な漁業を様々な形で模索する中で、子どもたちに対して海の課題を解決する方法を提示した。また漁業以外にも海洋研究や海洋調査など将来的な職業選択の候補として海に関わる仕事の魅力を伝えることに努めた。

オリジナル体験学習イベント

「キッズサマースクール2024 しずまへの今と未来の調査隊～由比の定置網漁と三保サーモン～」

一般社団法人静岡UPは、7月30日～8月1日、静岡県の小学5・6年生を対象とした海を学習するプログラム『キッズサマースクール』を開催した。今年、「しずまへの今と未来の調査隊」と題して、応募数254名から選ばれた20名が、静岡市の由比・三保エリアを舞台に、静岡県が全国に誇るしずまえ、しずまえ鮮魚について深掘り学習しながらしずまへの今と未来について学んだ。さすばし蒲鉾の協力で、小学生がデザインをしたパッケージを使用した「黒はんぺん」の販売が実現することになり、販売開始は11月以降になる見込み。自分たちの学んだことを振り返り、そしてしずまへの海の魅力を多くの静岡県民に知ってもらうために、班ごとにアウトプットテーマを決め、しずまえ新聞風にまとめたポスターの制作を行った。完成したポスターは、10月26日～11月8日の期間、新静岡駅～新清水駅間を走行する静岡鉄道の1編成のポスターを全てジャックして掲出した。



WEB運営

2025年3月時点で
ニュースサイトPV数 145,292PV、
ニュース記事数 50記事達成。
その他、自主的なSNS運営として
Xを運営し、情報発信に努めた。

海の取材動画

静岡県内想定視聴者
3,550,000人に向け、海に関するニュー
スやプロジェクト本体の活動、一般助成事
業の活動を計36本放送。
(報道取材含む・2025年3月7日時点)

プロジェクト訴求動画

プロジェクト本体のピークに合わせた連携
広報として、海ごみゼロウィーク訴求動画、
海とごちそうウィーク訴求動画、海と灯台
ウィーク訴求動画を各15秒計200本放
送。

これまでの課題と今後の展望

課題 1

海の環境変化による漁獲量の減少や魚種の変化について

課題 2

海洋ごみ問題と海の環境変化を連動させての周知

課題 3

海への興味や海に親しむ機会の減少について



魚種変換や陸上養殖の広がりなど環境変化への対応を深掘りする



静岡お助け隊～キレイな海を守るために～漁問題の啓発イベントを実施



海のレジャー情報などをWEBサイトで発信し、海への興味関心を高め、海に足を運んでもらう。